

スポーツと女性

キム・ヨンジュ（韓国）

伝統的にスポーツは男性の領域でした。これまでスポーツ活動やスポーツの観戦など、スポーツに関心を持つ人びとが主に男性であったため、スポーツは女性に適していないとされる代表的な領域でした。

しかし、社会の変化に伴い女性の社会的・経済的参加が増加し、これによってスポーツが男性の専有物のように思われた時代は終わりました。スポーツにおいて女性の参加が許されない種目は、今ではほとんど見ることはできません。特に、今年ロンドンで開催された第30回オリンピックでは、史上初めて204に上る全ての国が女性選手を出場させ、ジェンダー平等を達成した象徴的な出来事でした。

韓国においてもスポーツと言えば、依然として「強靱」かつ「躍動的」な特徴、つまり男性をイメージする考えが根強く残っています。しかし、韓国でも徐々にスポーツの世界で女性の参加が増え、女性スポーツ選手が国民的に名声を上げ、人気をあつめる事例も増えていきます。例えば、韓国ではジャン・ミラン（Mi ran JANG）という、重量挙げの女性選手がここ数年、国民の関心や人気を集めています。彼女はオリンピックと世界選手権大会の無差別級に出場し、多くのメダルを獲得、世界新記録を樹立しました。115kgの巨体の彼女が記録更新に向け努力し、試合で最善を尽くす姿を見て、多くの人が「美しい」「格好いい」と思うようになりました。韓国で重量挙げは人気のスポーツではないにもかかわらず、彼女の人気は国民的な関心を集めているフィギュアスケートのキム・ヨナ選手にも引けを取りません。

現在、韓国のプロスポーツ選手の数はいくつ 25,439 人（大韓体育会、2010）、この内女性は 11,346 人（44.6%）、男性 14,093 人（55.4%）と、人数の面で男女に大きな差は見られません。さらにこの内、国家代表選手はいくつ 1,143 人、女性 492 人（43%）、男性 651 人（57%）と、女性の割合が 4 割を越えています。

このように、プロスポーツ選手の数を見ても、スポーツの多様な分野で女性の参加が積極的に行われていることが分かります。

また、プロスポーツ選手のほか、一般大衆スポーツへの参加においても徐々に女性の参加が拡大し、女性のスポーツへの参加も積極的になっています。

まず、統計的に女性のスポーツ活動の現状を見ることにします。『国民の生活体育活動参加の実態調査（2010）』によれば、スポーツ活動へ全く参加をしない人の場合、女性の割合が高く、体育同好会組織への加入やスポーツ大会への参加経験などにおいても、女性は男性より参加率が低くなっています。しかし、逆に女性の参加率が高いスポーツ分野もあります。水泳、バドミントン、ダンスなどがその代表的なものです。

なお、スポーツ活動に間接的に参加する試合観戦においても、近年、女性の参加が大幅に増加しています。

このような変化を示す事例として、ここ数年の間に野球場において女性観客数が大幅に増加していることを挙げることができます。これまで野球は男性が参加し、男性が楽しむスポーツでしたが、近年、球場において女性の姿が目立つようになり、野球場の雰囲気も大きく変わりました。大韓野球委員会（KBO）の発表によれば、今シーズン（2012年）の観戦者数は700万人を突破しましたが、この内、女性が約3割を



野球場の女性野球ファン

超えると推定しています。特に、若年層の女性野球ファンが野球場を訪れ、それぞれ好きな選手の名前を叫び、彼らのプレーに歓喜する姿を容易に見ることができます。

野球場に女性観戦者が増えるに従って、各球団でも女性ファンのためのサービスや野球場の施設改善にも取り組みはじめています。

このように、女性のスポーツへの参加拡大は、女性の健康増進や生活の中でスポーツに親しむ度合を高めるだけでなく、多くの側面でスポーツの活性化につながるようになるでしょう。